

津地域北立誠地区 地震防災マップ

01-06



【凡例】

- 津波浸水深 (0.5m以上)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 緊急輸送道路
- 救急告示医療機関
- 避難所
- 一時避難場所 (地震災害)

【液状化の説明】

液状化危険度ランク

液状化危険度ランク	予想される状況
極めて高い	液状化の危険度は極めて高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は2割から3割程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や構造物が傾いたり、道路が陥没したり、液を吐いたりする場所がある。
高い	液状化の危険度が高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は5割程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物が傾いたりする場所もある。

・造成地では一般的に、盛土地盤については液状化の可能性があると考えられます。これに対して切土地盤では液状化の可能性は低いと考えられます。この地図では、高気圧域を盛土地盤として液状化危険度を判定しているため、切土地盤の造成地については、実際よりも危険度を高く評価している可能性があります。

【震度の説明】

震度階級	人	室内の状況	屋外の状況	木造建物
6強	立っていることができない。	固定していない重い家具はほとんど倒壊、転倒する。ガラスの破片が飛び出し、落下する。	多くの建物が倒壊、落下する。高い建物の高い階層は倒壊する。電柱が倒壊する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するのに近い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が倒壊するものがある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具は倒壊、転倒する。ガラスの破片が飛び出し、落下する。	かなりの建物が倒壊、落下する。高い建物の高い階層は倒壊する。電柱が倒壊する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するのに近い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が倒壊するものがある。
5強	非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	固定していない重い家具は倒壊、転倒する。ガラスの破片が飛び出し、落下する。	多くの建物が倒壊、落下する。高い建物の高い階層は倒壊する。電柱が倒壊する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するのに近い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が倒壊するものがある。
5弱	多くの人が、身の安全を確保する。一部の人は、行動に支障を感じる。	固定していない重い家具は倒壊、転倒する。ガラスの破片が飛び出し、落下する。	多くの建物が倒壊、落下する。高い建物の高い階層は倒壊する。電柱が倒壊する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するのに近い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が倒壊するものがある。

※東海・東南海・南海地震で震度7となるメッシュは地図内にはありません。気象庁震度観測所(津市)より推定。

【急傾斜地の説明】

急傾斜地でけずれが発生すると、急傾斜地の上部ではけずれの高さに相当する範囲で土砂が崩れ落ち、急傾斜地の下部ではけずれの高さの2倍に相当する距離まで土砂が堆積することが一般的です。角度が30度以上、高さ5m以上の区域は、法律により「急傾斜地崩壊危険箇所」に指定されています。

● 防災行政機関

名称	電話
津市役所	229-3104
津警察署	213-0110
中消防署中區	226-2580
中消防署西分署	225-7431
中消防署南分署	234-3512
北消防署北區	232-3092

● 救急告示医療機関

<津地域>

名称	電話
医療法人 吉田クリニック	232-3001
岩崎病院	232-2216
国立大学法人 三重大学医学部附属病院	232-1111
武内病院	226-1111
大門病院	226-5525
医療法人 永井病院	228-5181
湊山病院	227-6171
津生協病院	225-2848
新宮病院	227-0207

● 避難所一覧(地震災害・風水害)

名称	電話
三重大立誠地区センター	259-1211
津市立中央公民館	252-1111
三重大立誠地区センター	262-0600

● 一時避難場所一覧(地震災害)

名称	電話
倉敷紡績(株)津工場敷地	231-6102
三重大学グラウンド	232-1211
創価学会三重大文化会館	221-6051
ひょうたん池公園	—
旭町公園	—

● ライフライン関係機関

名称	電話
中部電力(株)津営業所	226-5559
東邦ガス(株)津営業所	228-7161
西日本電信電話(株)三重大支店	116
津市水道局	237-5811

この地図は、既存の図面としては最新の平成12年作成の津都市計画基本図を編纂したものです。平成12年以降に建てられた建物については表示されておりませんので御了承ください。

【津波の被害】

- 津市の海岸に津波が到達する時間(地震発生時から)
 - 第一波(約20cm)・・・約50分後
 - 最大波(約1.5m)・・・約2時間20分後
 (津波は一回きりでなく、数度にわたって襲ってきます。)
- 津波による主な被害
 - ・高さの上まで浸りかかると人ははたいてい死んでしまいます。
 - ・木造建物は、1m未満の高さでは部分的な被害程度ですが、1mを超えるとならば全壊となる場合が出てきます。
 - ・鉄筋コンクリートビルでは、2～3mの高さまで持ちこたえられますが、4mを超えると破壊するビルが出てきます。
 津波は、海岸や海底の地形(V字状の湾、岬の先端、湾内など)によっては局部的に大きくなる場合がありますので、注意が必要です。

津波から身を守る

海岸沿いで地震を感じたら、すぐに安全な場所に避難することが鉄則です。

